

# 夏期保育で夏の思い出づくり

芽生え  
幼稚園

## メインイベントお泊り保育行こう

夏休みの楽しい思い出づくりと家庭から離れ園児の自立心とコミュニケーション力を養うことを目的に城陽市寺田大谷の芽生え幼稚園(西岡京子園長・園児124人)が4日から「夏期保育」を実施し、7日にはメインの1泊2日の「お泊り保育」を行い、年少、年中、年長園児100人が参加。友達とのお風呂やキャンプファイヤー、テントでの就寝など多くの楽しいプログラムに仲間と力を合わせ、楽しい思い出を作

っていた。

夏期保育は4日にはプール遊び、5日は誕生会、6日はスポーツテスト、7日はクライマックスのお泊り保育と1週間にわたり行われたもの。

7日は午前10時から園庭とホールで年長組園児と先生がお部屋さんになり年中、年少児がお客さんの「お部屋さんごっこ」でスタート。魚釣り、ヨーヨー、輪投げ、カキ氷などのお店で「いらっしやい、いらっしやい」の元気な呼び声に他の園児は

元気いっぱいカードを手にいろいろなお店で買い物を楽しんだ。昼食はから揚げ、ポテトなど園児の好物のメニューがずらりと並んだホテルさながらのバイキングで楽しんだ後、午後からはプラムイン城陽に移動。アスレチックなどで汗いっぱいになりながら先生と楽しく過ごした。同所で全員で夕食と大浴場で汗を流し、園に戻った後も園庭でキャンプファイヤーが開かれ

花火や歌を歌い夏の夜を満喫した。

年長園児は本格的なテントで就寝するのも楽しみのひとつで8日の朝、夏休みの楽しい思い出一杯にチョップリたくましくなって帰宅する。

お泊り保育について西岡園長は「元気な子はより元気に、日頃おとなしい子も活発に先生や友達と打ち解けて話すようになります」と疲れを知らない子どもたちの姿に目を細めていた。また両足とび、20メートル走、前屈など夏期保育のスポーツテストの結果で、最近の子どもの傾向としていわれる身体の硬い子や両足とびの出来ない子など敏捷性に欠

ける子が多いことが判明し、早速2学期の課題として取り組んでいくことを決めた。

【写真はバイキングの昼食を楽しむ園児たち】

